

長泉麗峰山の会・	文・北村 写真・後藤、北村
山行番. NO. 2028	
日時 2024年2月3日(土) 無風快晴	
山域 八ヶ岳・横岳(2829m) 杣添尾根	
コース 海の口登山口(駐車場)6:00ー貯水池 6:44ー森林限界 9:25ー三叉峰 10:30ー奥の院 (第一隊 11:02、第二隊 11:25)ー三叉峰 11:45ー展望デッキ(昼食) 12:25~13:13 ー貯水池 14:24ー海の口登山口(駐車場) 14:50ー伊予ロッジ 15:10ーたかねの湯/ 北杜市(入浴・夕飯) 16:15~17:30ー現地解散	
標高差 標高差 S=1079m、登山口 1750m、山頂 2829m、上り返し=30m(累積標高差=1109m)	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 普通 やや易しい 易しい	
冬山の絶景満喫・八ヶ岳ブルーの横岳	
ど〜が〜 https://susono-reihou.babyblue.jp/00-39mp4.mp4	
参加者 CL 後藤(77)、加藤、山田、勝又(4名前泊) 井上、北村(2名当日) = 6名	

登山の魅力を知り週末に山に通うようになって、冬山は危険で近づき難い世界だった。山岳ガイドと八ヶ岳の雑談をしたとき、一枚の風景写真をスマホで見せてくれた。青空バックに鋭くそびえる真っ白い山、彼方には圧倒的存在感の富士山。「寒いけど冬山登山の景色は最高なんだ」。横岳の三叉峰から撮影した写真だった。

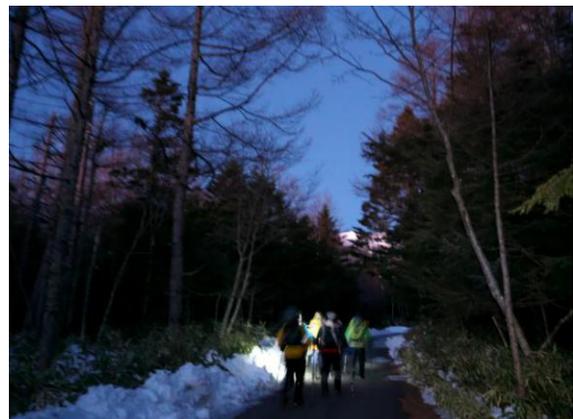
自身初の雪山登山は残雪期、そのガイドさんに杣添尾根から三叉峰へ連れて行ってもらった。その後も雪山、高山植物が咲く初夏と個人で6回登った大好きなコース。今回は初めての厳冬期、長泉麗峰 冬山隊の一員として横岳登山に参加させていただいた。

メンバーは6人。4人は前泊、私と井上さんは仕事後の出発となり、登山日の朝に清里で合流した。早めに到着してコンビニで朝食を摂ったが、買い物だけで手が凍える寒さだった。集合時刻の20分前に合流場所に到着、荷積み中でバックドアが開いた後藤CLの車がすぐ目に入った。山頂は強風予報、加藤さんが「今日は寒さ厳しい登山になるよ」と言った。心づもりして、後藤CL車で海の口登山口へと向かった。

空が明るくなり始めた6時過ぎに、ヘッドライトを点けて登山を開始した。木々で風が遮られるせいか、ほぼ無風の快晴だ。

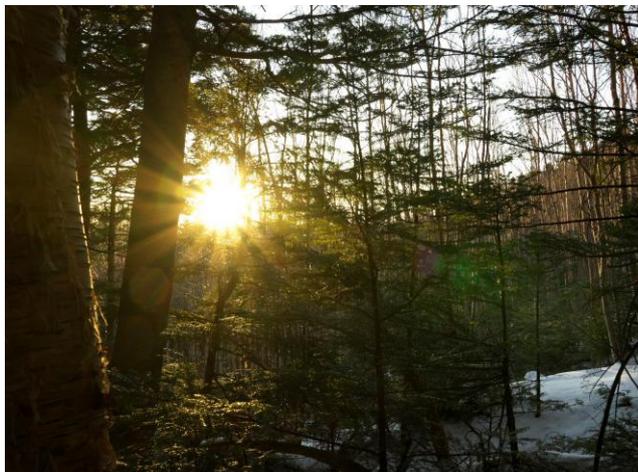
道路の先に真っ白い横岳が見えてテンションが上がった。登山道は氷雪で早々にアイゼンを装着、別荘地と林道を過ぎて長い林帯の上りが始まった。変化のない単調な道だが歩きやすく朝の木漏れ日が心地良かった。

上り出すと朝の凍れを忘れるほど暖かくなった。



道路の先にほんのり横岳が見える

2時間弱歩いた場所で小休憩、後藤 CL が美味しそうにお汁粉を食べる、私は真っ青な空に心躍りカメラを真上に向けた。しっかり朝食を食べたのが良かったのか、樹林帯は上った記憶がないほど短く感じた。富士山が見えてきた、樹木が低くなり高い青空も見えてきた。森林限界に到着して視界が開ける。



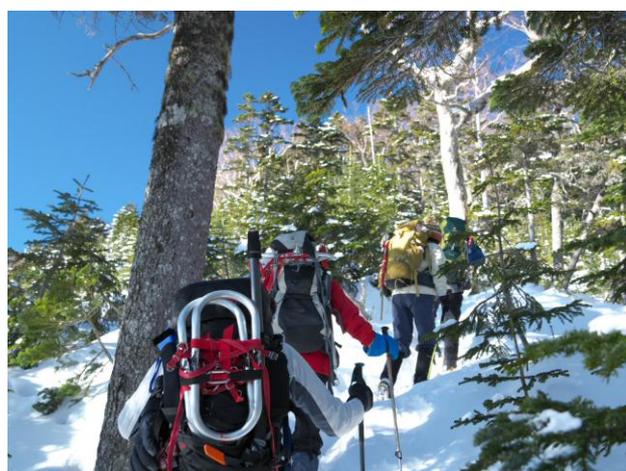
木漏れ日が心地良い



美味しそうにお汁粉を食べる後藤 CL



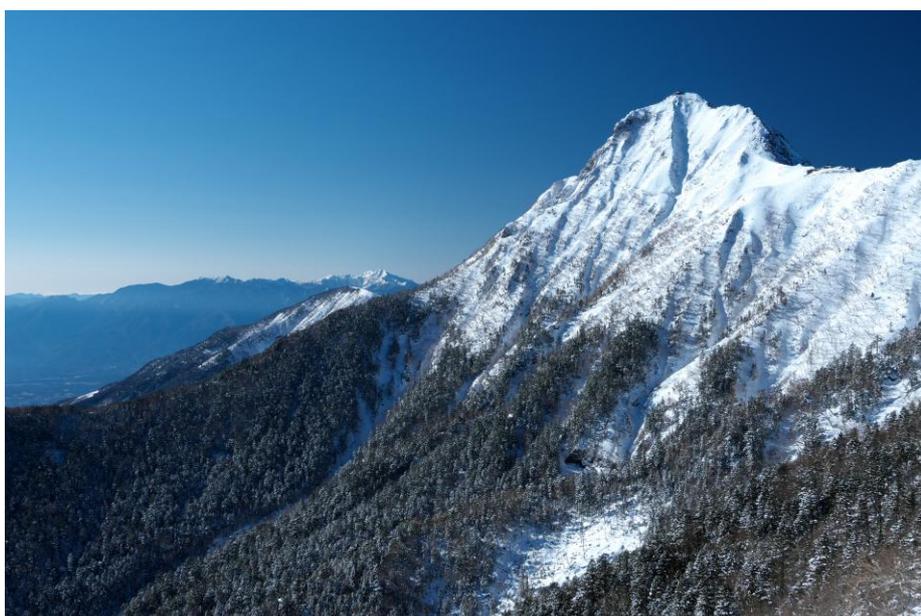
空が高い(後藤)



森林限界は近いぜ 「レイ!」「ホー!」

待っていたのは、八ヶ岳ブルーの空に鋭くそびえる赤岳、後には南アルプス、富士山そして、これから上る横岳。「何度見ても、素晴らしい景色!」

仕事後に運転し寒い駐車場の仮眠でかけつけたご褒美を早速いただいた。



赤岳と南アルプス

標高 2570m地点の展望デッキは、雪で半分埋まっていた。東斜面は風が弱く雪が着きやすいと後藤 CL が教えてくれた。三叉峰に向かう登山道も雪たっぷり、雪質も軽く歩きやすかった。横岳まで残り標高差約 250m、単純に考えれば、地元 沼津アルプスの大嵐山+αで楽勝と言いたいがそう甘くない厳しい上りだった。

動画を撮影する後藤 CL が一番後、井上さんが先頭で一列になり歩きだす。元気の良い井上さんが少しずつ離れていく。途中で自分が後に下がり皆の写真を撮りながら歩くが、その頃には井上さんの姿は点になっていた。さすが飛ばし屋、速い!(笑)



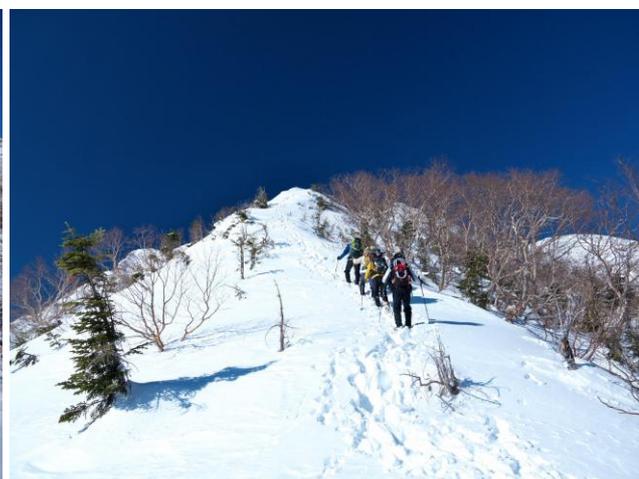
長泉麗峰 雪山帯 横岳を目指す(後藤)



最後尾に頼もしい後藤 CL と加藤さん



飛ばし屋 井上! 姿が点になる笑(後藤)



爽快! ハヶ岳ブルーの空に向かって進む

半分くらい上ったところで、後藤 CL と加藤さんが行動食を摂るとの事で、山田さん、勝又さん、北村の 3 人で先に山頂に向かった。

山田さんが先頭となり良いペースでリードしてくれるが、自分の身体は何故か重たく息が上がった。後からは勝又さんが表情を変える事もなく淡々とついてくる。

途中で写真を撮りながら、離れずには歩けたが、快晴の素晴らしい景色を楽しみながら上る余裕はなかった。

なんとか 2800mの縦走路に到着した。樹林帯とは逆に長くきつく感じた 250m だった。



優しい兄貴 勝又さん



赤岳と富士山の豪華コラボ



歩きがパワフル! 山田さん



三叉峰に到着!

縦走路から西側の景色を見て再び感動した。特に霧ヶ峰、美ヶ原の先に並んだ北アルプスの山々は圧巻の光景。空気の透明度が高い。勝又さんとしばし絶景を眺めた。

井上さんと山田さんがいる三叉峰のピークに移動する。ここから見える赤岳～阿弥陀、南アルプスの景色がまた素晴らしい。360° どこを見ても語彙力を失う絶景だった。



絶景 北アルプスクッキリ



三叉峰の上に井上さんと山田さん



三叉峰からの絶景 雪化粧した南八ヶ岳（後方は南アルプス）

後藤 CL と加藤さんが上がってきた。井上さんと山田さんが「レイ」「ホー」「レイ」ホー」と声を出して合図、私は2人の姿にカメラを向けた。歩く姿はおしどり夫婦のようでほっこりした。2人の信頼関係の深さを感じた。

井上さん、勝又さん、山田さん、北村の4人で奥の院に向かう。依然として少し上るだけで息が上がる。軽い高山病だったようだ、思えば朝から水分を摂取していなかった。体調準備の反省点となった。15分ほどで奥の院に登頂、目的を達成して三叉峰に戻る。

途中でハーネス装備を付けた玄人っぽい女性二人組とすれ違い挨拶した。山岳パトロールの方かな？と思ったが、後藤 CL から愛媛と埼玉の労山仲間と聞き親近感を感じた。



後藤 CL と加藤さん到着「レイ!」「ホー!」



第一隊 奥の院登頂

第二隊で奥の院に向かう後藤 CL と加藤さんにご一緒させていただいた。山頂に登山者が居たので3人の記念写真を撮ってもらった。私のリクエストで握手ポーズの1枚ゲットした。ただ、その写真を見て自分の服装が真っ黒で発見しにくい色だった事に気づいた。

目立つように赤いヤッケを着ているが、上着を脱いだときの事を忘れていた。この日の2つ目の反省点となった。



第二隊 奥の院登頂(後藤)



縦走路を進む 後藤 CL と加藤さん

三叉峰に戻ると、待っていた3人は軽食を済ませていた。昼食地点まで、もう一歩きある。何も食べていなかった私に山田さんが甘いパンを1個差し入れしてくれた。とっても美味くて力が蘇りました「ありがとう、山田さん」

斜面を下る前に、後藤 CL からピッケルとストック操作をコーチしていただいた。必要なものを素早く取り出せるパッキング方法、ピッケルの素早い格納などもアドバイス頂いた。何故そうした方が良いのかも教えて頂き分かりやすかったです。練習します。



雪山技術アドバイスをいただく

展望デッキまで降りて富士山を見ながら皆で昼食を摂った。

「なんて贅沢な特等席なんだろう」自分の足で歩いてきたものだけが座れる特等席は、貸し切りで手袋不要のポカポカ陽気。赤岳、白根三山、今日、全員登頂した横岳もくっきり。ゆっくり食事を食べてセルフタイマーで全員の写真を撮ってもらった。みんな笑顔で良い写真です。



貸し切り特等席でゆっくり昼食



みんな良い笑顔で「レイ！」「ホー！」（後藤）

名残惜しいが下山の時刻となり帰り仕度始める。ここで、ちょっとしたトラブル発生。手袋が地面に落ちて斜面を15mほど転げ落ちてしまった。ザックは落下させないように用心しているが、ちょっとした油断で冬山の重要装備を落としてしまった。

予備は持参していたもの緊張感にかけていた。この日3つの反省点となった（手袋は無事回収できました）。

ご飯を食べたせいか、切れの悪かった身体はいつの間にか元に戻っていた。下山は早いペースで一気に登山口まで降りた。杣添川の小さな橋を渡ったところで坂道は、ほぼ終わりとなる。後藤CLが橋の先で「**おつかれさま**」と一人ずつ出迎えてくれた。リーダーの温かい一言が疲れた身体に復活の力を与えてくれた。

全員登頂してトラブルなく元気に下山した。帰り道は北杜市のたかねの湯で汗を流し、みんなで反省会を兼ねた夕食を食べて現地解散となった。

強風予報に反して、ほぼ無風で暖かな一日。終始なごやかな雰囲気楽しく1日を過ごすことができました。雪山技術アドバイスの実践、自己反省点は改善したいと思います。ご一緒させていただきありがとうございました。

山行スナップ 奥の院～三叉峰 後藤 CL と加藤さん



登山ルート概要

